

施策番号	1304		
施策名	子どもを安心して生み健やかに育てることのできるまちづくり		
概要	妊産婦の心身の健康の保持、増進を図るとともに、子ども特有の事故、病気などへの対応など、母親と子どもへの総合的な支援、保健医療を充実する。		
担当局・部室	子ども若者はぐくみ局・子ども若者未来部	共管局・部室	
上位政策	13 子育て支援		
施策に関係する主な分野別計画等	京都市未来こどもはぐくみプラン(2015～2019)		

施策の評価

1 客観指標評価

指標名		28年度	29年度	30年度評価					
				前回値	最新値	目標値	達成度	評価	指標のウェイト
1	1歳6箇月児健康診査受診率(未受診者への支援を含む)(%)	b	b	99.1	99.7	100	99.7%	b	1.00
2	生後4箇月までの乳児のいる家庭への訪問率(未訪問家庭への支援を含む)(%)	a	a	100	100	100	100.0%	a	1.00
3	-	-	-	-	-	-	-	-	
4	-	-	-	-	-	-	-	-	
5	-	-	-	-	-	-	-	-	
6	-	-	-	-	-	-	-	-	
		a	a	客観指標総合評価				a	

2 市民生活実感評価 *この評価は、毎年5月頃に実施している京都市市民生活実感調査のアンケート結果を基にしています。

設問		28年度	29年度	30年度回答						有効回答者数	評価
				そう思う	どちらかと言うとそう思う	どちらとも言えない	どちらかと言うとそう思わない	そう思わない			
1	必要なときに健康相談を受けたり、病院に行けたり，安心して子どもを生み育てることができる。	b	b	40	166	157	36	20	419	b	
				9.5%	39.6%	37.5%	8.6%	4.8%			
2	-	-	-							-	
3	-	-	-							-	
4	-	-	-							-	
5	-	-	-							-	
		b	b	市民生活実感調査総合評価							b

3 総合評価(客観指標総合評価＋市民生活実感調査総合評価)

A	施策の目的が十分に達成されている					29 年 度	A
	重み付け	☒ 客観指標	a	☐ 市民の実感	b		
(重み付けの理由) 出産や育児に関する環境整備の評価については、評価を行う市民の状況(年齢層、家族構成等)による出産・育児への関わり具合により実感が大きく異なる可能性があり、実際の施策の利用状況を示す客観指標評価を重視する必要があるため						28 年 度	A
(原因分析) 客観指標総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が客観指標に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							
(原因分析) 市民生活実感調査総合評価 ☒ b評価以上であり、施策の効果が市民の実感に表れている。 ☐ c評価以下であり、次の原因が考えられる。							

今後の方向性の検討

<この施策を構成する事務事業>

	事業名	事業費の状況(千円)		30年度事務事業 評価結果における 目標達成度評価	担当局
		29年度 決算額	30年度 予算額		
1	民間社会福祉施設(民間保育施設)単費援護	4,005,886	4,334,364	良い	子ども若者はぐくみ局
2	民間保育所時間外保育事業	396,335	500,564	悪い	子ども若者はぐくみ局
3	保育団体事業補助	24,701	24,729	良い	子ども若者はぐくみ局
4	公営保育所運営	4,366,626	4,202,281	良い	子ども若者はぐくみ局
5	公営保育所時間外保育事業	61,295	69,049	悪い	子ども若者はぐくみ局
6	公営保育所一時預かり事業	48,381	50,906	普通	子ども若者はぐくみ局
7	公営保育所休日保育事業	9,255	9,575	良い	子ども若者はぐくみ局
8	保育所職員の資質向上のための研修プログラム	15,703	24,008	かなり良い	子ども若者はぐくみ局
9	病児・病後児保育事業	79,976	97,750	普通	子ども若者はぐくみ局
10	認可外保育施設補助事業	1,226	1,418	かなり悪い	子ども若者はぐくみ局
11	～地域で支える～すくすく子育て応援事業	10,529	14,625	良い	子ども若者はぐくみ局
12	妊産婦健康診査	1,010,668	998,626	悪い	子ども若者はぐくみ局
13	先天性代謝異常等検査	23,045	27,555	良い	子ども若者はぐくみ局
14	新生児等訪問指導事業	131,986	134,953	良い	子ども若者はぐくみ局
15	不妊治療費等助成制度	438,965	452,081	普通	子ども若者はぐくみ局
16	乳幼児健康診査	271,994	284,011	良い	子ども若者はぐくみ局
17	結核児童療育給付(市単独分)	80	133	良い	子ども若者はぐくみ局
18	小児慢性特定疾病対策	47,498	46,720	良い	子ども若者はぐくみ局
19	すくすく子育て情報発信事業	9,453	12,293	良い	子ども若者はぐくみ局
20	親子の健康づくり講座	54,272	51,221	普通	子ども若者はぐくみ局
21	妊娠期からの子育て支援	81,463	79,879	良い	子ども若者はぐくみ局
22	母子保健通訳派遣事業	16,700	15,141	良い	子ども若者はぐくみ局
23	保育人材確保事業	24,379	34,809	良い	子ども若者はぐくみ局
24	子育て支援情報発信事業	5,508	7,110	良い	子ども若者はぐくみ局
25	子どものための教育・保育給付費(市単費分)	5,383,697	3,761,124	良い	子ども若者はぐくみ局
26	京都版ブックスタート事業	31,476	33,339	良い	子ども若者はぐくみ局
27	次世代はぐくみプロジェクト事業	37,318	39,224	悪い	子ども若者はぐくみ局
28	メンタルヘルスケア及び腰痛・頸肩腕障害予防指導事業	6,973	7,163	良い	子ども若者はぐくみ局
29	産後ケア事業	37,026	42,663	良い	子ども若者はぐくみ局
30	出産お祝いレター等作成及びお届け事業	26,799	23,025	良い	子ども若者はぐくみ局
31	民設児童館整備助成	23,102	1,079	－	子ども若者はぐくみ局
32	つなぎ資金貸付	14,723	0	－	子ども若者はぐくみ局
33	保育環境強化事業	4,393	2,868	－	子ども若者はぐくみ局
34	保育所等耐震改修事業	261,167	143,477	－	子ども若者はぐくみ局
35	保育所等防音壁設置事業	5,131	10,478	－	子ども若者はぐくみ局
36	民間保育所等整備助成	3,331,423	1,563,176	－	子ども若者はぐくみ局
37	緊急待機児童対策事業	135,757	0	－	子ども若者はぐくみ局
38	事故防止対策推進事業	0	26,997	－	子ども若者はぐくみ局

*予算額には人件費及び施設管理に係る経費を含みます。

<今後の方向性>

・妊婦に安心して妊娠・出産の時期を過ごしていただくためには、妊娠期から出産・育児期まで切れ目のない支援を行うことが大切であり、引き続き、受診率、訪問率の向上を含め現行の各種母子保健事業を推進するとともに、妊娠期における支援強化を行っていく。

施策名	1304	子どもを安心して生み健やかに育てることのできるまちづくり					
指標名	1歳6箇月児健康診査受診率（未受診者への支援を含む）（％）						
担当課	育成推進課		連絡先	746-7610			
1 指標の説明							
1歳6箇月児健康診査対象児童のうち、保健福祉センター子どもはぐくみ室実施の1歳6箇月児健康診査を受診した者、及び未受診ではあるが別途保健福祉センター子どもはぐくみ室により必要な状況把握と適切な支援が行われた者の割合							
2 指標の意味							
子育て家庭向けの保健サービスの充実状況を示す指標			3 算出方法・出典等				
			算出方法：（1年間の健康診査受診者数＋1年間の健康診査未受診者の内必要な支援実施者数）÷1年間の年齢該当者数×100 出典：保健事業実績表				
4 数値							
	前回数値	最新数値	推移	目標値			
	28年度	29年度		数値	根拠	達成度	
数値	99.1	99.7	0.6増	100	全ての子どもの健やかな成長を図る必要があるため、100%を目標とする。	99.7%	
	全国順位	中長期目標			備考		
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値							
5 評価基準							
最新数値が a:100% b:99%以上～100%未満 c:98%以上～99%未満 d:97%以上～98%未満 e:97%未満			6 基準説明				
			新「京(みやこ)・子どもいきいきプラン」における1歳6箇月児健康診査の数値目標（平成21年度:97% ※実績95.9%）を踏まえ、97%以上を最低ラインとし、100%まで1%刻みで基準を設定した。				
7 評価結果							
		28	29	30			
		b	b	b			

指標名	生後4箇月までの乳児のいる家庭への訪問率（未訪問家庭への支援を含む）（％）						
担当課	育成推進課		連絡先	746-7610			
1 指標の説明							
生後4箇月までの乳児のいる家庭のうち、保健福祉センター子どもはぐくみ室実施の新生児等訪問指導事業（こんにちは赤ちゃん事業）により家庭訪問が行われた家庭、及び未訪問ではあるが別途保健福祉センター子どもはぐくみ室により必要な状況把握・適切な支援が行われた家庭の割合							
2 指標の意味							
子育て家庭向けの保健サービスの充実状況を示す指標			3 算出方法・出典等				
			算出方法：（1年間の訪問家庭数＋1年間の未訪問家庭の内別途必要な対応を行った家庭数）÷1年間の訪問対象家庭数×100 出典：保健事業実績表				
4 数値							
	前回数値	最新数値	推移	目標値			
	27年度	28年度		数値	根拠	達成度	
数値	100	100	増減なし	100	全ての子どもの健やかな成長を図る必要があるため、100%を目標とする。	100.0%	
	全国順位	中長期目標			備考	1～3月生まれの乳児のいる家庭に対する支援が継続中であるため、平成28年度値が最新値となる。	
		数値	目標年次	達成度			根拠
数値							
5 評価基準							
最新数値が a:100% b:96%以上～100%未満 c:93%以上～96%未満 d:90%以上～93%未満 e:90%未満			6 基準説明				
			平成21年度の訪問率（未訪問家庭への支援を除く）実績89.2%を踏まえ、90%以上を最低ラインとし、100%まで3%刻みで基準を設定した。				
7 評価結果							
		28	29	30			
		a	a	a			